



## 合同研修会 & 感謝状贈呈式

平成30年2月6日

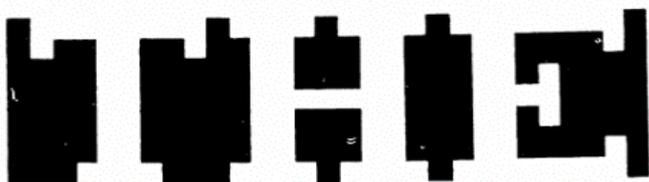
### 今回のテーマは「気づいて・築く・地域の絆」

突然ですが、下の図は何に見えますか？  
視点を変えると、くっきり見えてくる不思議な図柄です。答えはページ右下をご覧ください。

今年の研修会では、東京未来大学学長（30年3月までモチベーション行動科学部長）  
かくやま たかし  
の角山 剛氏をお招きし、コミュニケーションに関する講演とグループワークを行いました。

講演の中で紹介されたこの図柄は、物事を理解する上で、いかに思い込みが邪魔をしているか、に気づかせてくれました。

日頃のお付き合いも、視点を少し変えてみると、相手の意外な一面が見えてくるかも知れません。



「心理学者ミラー（1967）による図形」

また、講演では効果的なコミュニケーションのポイントの紹介がありました。是非、日頃の見守り・声掛け活動にお役立ててください。

#### ～効果的なコミュニケーションのポイント～

- ① 目的を明確にする
- ② 相手に伝える内容を自分自身が理解している
- ③ 相手のおかれている立場を理解している
- ④ 話し合える雰囲気をつくる
- ⑤ 相手にも十分に話させる
- ⑥ 相手の理解を確かめながら話を進める
- ⑦ 結論を焦らない
- ⑧ 込み入った話や重要な件は直接面談の場で

贈呈式では、絆のあんしん協力員15名、絆のあんしん協力機関3団体に対し、近藤区長より感謝状をお渡しし、日頃の活動に敬意を表しました。

各地で活躍する

今回の担当は…西部ブロック！  
(入谷・扇・江北・鹿浜・西新井・西新井本町)



## 絆のあんしん協力員&協力機関



地域の高齢者と一緒に「子ども食堂」！

地域包括 鹿浜

子ども食堂※を運営するボランティア団体「いちかポケットの会」が、特別養護老人ホームさくらを会場に、高齢者との交流を目的とした、餅つき大会を開催しました。

当日は絆のあんしん協力員に加え、大勢の中学生がお手伝いとして参加し、会場は活気にあふれていました。

「当日集まった高齢者からは、『直接子どもたちの輪に入らずとも、元気な姿を見ているだけで力をもらえる』との声が多かった」と団体の代表を務める宮本さん。

開催場所である「特養さくら」は、「地域交流のためなら」と快く貸し出しに応じてくださったといいます。



多くの人で賑わう特養さくらの様子

登校時の挨拶運動で、しばしば見かける元気のない子どもたちの姿に、「栄養のある食事を提供すれば」と思いたち、子ども食堂を立ち上げたそうです。

そんな折、所属する町会の役員会で、高齢者が「子どもたちと交流をしたい」と話すのを耳にして、このイベントの開催を決意しました。

「今は不定期ですが、今後も是非継続していきたい」と力強く話されていました。



宮本さん（写真右から二人目）と「いちかポケットの会」スタッフの皆さん

※子ども食堂：子どもや親子を対象に、無料または低額で食事を提供する取り組み。子どもの「孤食問題」解消の一助となっている。

介護事業所「ハンドインハンド」では、事務所の空きスペースを利用して、ふれあいサロン「若松さんち」を開催しています。

「若松さんち」の主な活動は、スタッフや参加者が**みんなで食事の準備を行い、一緒に食べる**こと。毎回、約20名分の食事を用意しています。

また、敷地内の庭を畑として活用し、大根、小松菜などを栽培しています。

**力を合わせて収穫した野菜は、食事会の材料として活用**しています。



庭の畑で育った野菜を収穫しました

おなじみのメンバーが急病で欠席と聞けば、みんなで心配し、何かできることはないか考え、支え合っています。

サロンの雰囲気と食事のおいしさが相まって、皆さん次回を心待ちにされているそうです。



おいしい昼食をみんなでいただきます

### 「若松さんち」情報

日時	毎月第3水曜日	午後1時から午後3時
内容	おしゃべり、お茶、食事など	
参加費	200円	
連絡先	基幹地域包括支援センター地域福祉課 6807-2460	

絆のあんしん協力員  
池田 洋子 さんにお話を伺いました

現在、扇地域で、お一人へ寄り添い支援活動をされています。

「両親の話をあまり聞いてあげられなかった」というご自身の経験から、何か地域へ恩返しできないかと考え、絆のあんしん協力員に登録されました。

「人と接することは、**過去の自分を見直すことにもなり、自らを成長させることができる**と感じます」と活動のやりがいを語ってくださいました。



また、「相手の話をさえぎらない。その場の雰囲気を尊重すること」がスムーズなお付き合いの秘訣だとか。

過去の寄り添い支援では、同一の相手を4年間訪問し、「お亡くなりになる直前まで寄り添えたことが一番うれしかった。今でも活動の原点となっています」と元気いっぱいです。

# 地域の居場所 サロンの紹介

## 第12回 「夢は日本シリーズ!？」



**平均年齢75歳! 草野球サロン**

鹿浜・江北地域

環状7号線沿い、南椿公園内の少年野球場は、毎日、高齢者の元気いっぱいな掛け声で溢れています。

サロン名は「**足立-70-G**」。70は70歳以上、GはおじさんのG。休日は少年野球場ですが、利用者の少ない平日の昼間に活動しています。

開始してすでに**15年以上**。はじめはスペースがなく、キャッチボール程度しかできませんでした。この野球場と出会ったことで、試合形式のバッティング練習もできるようになりました。怪我をしにくいようにとソフトボール用の**大きなボール**を使用しています。

最年長者は、なんと**85歳**。平均年齢は**約75歳**と言うから驚き。

野球の技術は様々ですが、全員が和気あいあいとプレーしている様子がとても印象的です。



準備運動は念入りに



ボールを見つめる眼差しは野球少年そのもの?

楽しそうなプレーの様子に、通りがかりの人が思わず足を止めてしまうこともしばしばとか。その中から、**メンバーに加わってしまった方もいる**くらいです。

代表者の玉屋さんは、「いつか、同年代の方と試合がしたいけど、この年齢だと相手がなかなかいなくてね」と笑って話しておられます。

**求む、対戦相手!**



皆さん元気にプレーしています

男女問わずプレイヤー・マネージャーも募集中です

### 「足立-70-G」情報

日時 毎週平日 午前10時から午後12時  
連絡先 (代表) 3899-8732